

平成 27 年(2015 年)7 月 28 日

希望が丘文化公園将来ビジョンの策定に向けた これまでの経過と今後の予定について

1 将来ビジョンの策定の趣旨

希望が丘文化公園は年間 80 万人以上の方が来園し、そのうち、青年の城や野外活動センター、陸上競技場などの施設の利用者も 20 万人を超えている中、次のような背景から将来像・方向性を明確にする将来ビジョンの策定が必要である。

○昭和 47 年の開園時には「すぐれた自然環境を保護し、活用し、県民にいいの場を提供するとともに、広く県民文化、体育の向上に資する」場として設置されたが、開園後 40 年以上が経過していることを踏まえ、社会情勢の変化や利用者ニーズの多様化に応え、公園の特性を活かしたより満足度の高い公園づくりが求められている。

○今後、東京オリンピック・パラリンピック、本県での国民体育大会をはじめとした大規模なスポーツイベントが開催されるなどスポーツ・健康づくりの機運が高まっている。

○国体主会場選定専門委員会から「本来のコンセプトや地の利を活かし、将来のスポーツ推進に向けて施設のあり方や活用方法の検討」が期待されている。

2 これまでの経過

時期	内容
H26 5. 20	国体主会場選定専門委員会から付帯意見
H26 11. 13	第 1 回関係課長会議の開催 ・ 将来ビジョンの策定に向けた進め方についての意見交換
H26 11. 25	政策・土木交通常任委員会で報告 ・ 希望が丘文化公園将来ビジョンの策定について報告
H26 12. 4	第 1 回ワーキンググループの開催 ・ 希望が丘文化公園の経緯、現状、強みと課題について検討
H27 3. 24	第 2 回ワーキンググループの開催 ・ 将来像と方向性について検討
H27 3. 27	第 1 回検討懇話会の開催 ・ 現地視察およびあるべき姿についての意見交換
H27 5. 21	第 3 回ワーキンググループの開催 ・ 有識者の意見、利用者アンケートを踏まえた将来ビジョン素案について検討
H27 6. 24	第 2 回関係課長会議の開催 ・ 第 2 回検討懇話会に向けた将来ビジョン素案について検討

時期	内容
H27 7. 6	希望が丘文化公園利用者懇話会での意見聴取 ・将来ビジョン素案について意見聴取
H27 7. 22	希望が丘文化公園運営推進協議会での意見聴取 ・将来ビジョン素案について意見聴取
H27 7. 28	第2回検討懇話会の開催 ・利用者懇話会、運営推進協議会での意見を踏まえたビジョン案について検討

3 今後の予定

時期	内容
H27 8. 27	政策・土木常任委員会で報告 ・将来ビジョン案およびパブリックコメントの実施について報告
H27 9月 ～10月	パブリックコメントの実施 第4回ワーキンググループの開催 第3回関係課長会議の開催 第3回検討懇話会の開催 将来ビジョンの策定・公表